

月	単 元 名 (教材名) (配当時数)	学 習 活 動 ・ 内 容	評価の主な観点			評 価 の 観 点 規 準	評価のための 判断材料
			組 む 態 度	主 体 的 に 学 習 に 取 り	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現		
4月	「ガイダンス」 家庭科について 安全について(2)	・生活場面に合わせてどのような衣服を着用しているか振り返る。	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 一年間に学習する内容理解できる 目的に合った衣服を選び、自分らしい着方を工夫することができる。 衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 目的に合った服装について考える 洋服と和服の構成のちがいや和服の着方を知る。 衣服の正しい表示の見方や選択のしかたがわかる。 衣服の状態に合わせた、手入れの必要性がわかる。 衣服の状態に合わせた、適切な手入れができる。 衣服の素材に適した手入れが分かる。・取り扱い表示の意味を理解して、適切な手入れの方法を選択できる。 衣服の素材に合った洗剤を選び、適切な量を使用できる。 アイロン温度を適切に設定し、安全に使うことができる。 自分や家族の生活を豊かにするものを考える。 製作手順を理解し、製作を行っている。 基礎的な知識を理解している。 安全面を考慮し、班で協力して作業をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 出席点 ノート プリント 定期考査 製作物 作品、器具等の使用方法
5月	「C 衣生活・住生活と自立」 日常着の活用(3)	・衣服のはたらきを知る					
6月	日常着の手入れ(5)	・衣服についている、いろいろな表示を知る。 ・衣服の収納と保管の方法を考える。					
7月	布を用いたものの製作(5)	・衣生活の面から環境を考える。 ・繊維や布の性質を知り、適切な衣服の手入れの方法を知る。 ・日常着の洗濯(洗う・干す・たたむ)について、具体的な方法・注意点などを知る。					

9月	「C 衣生活・住生活と自立」 住まいのはたらき（5）	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいについて考え話し合う ・日本の住まいと住み方の特徴を知る ・住まいの中での生活行為を考える ・家族の生活にあった住空間の使い方を考える ・「住まいのチェックカード」に記入し問題点を発表する ・災害対策について家庭での取り組みを発表しあう 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの基本的なはたらきを理解し、住まいに必要な空間とその役割がわかる。 ・家族によって住まい方がちがうことがわかる。 ・加速の生活行為と住まいの空間のかかわりがわかる。 ・室内の空気が汚れる原因を知り、健康に配慮した住まい方を考え工夫することができる。 ・家庭内の事故の種類とその原因がわかる。 ・災害への備えの必要性が分かり、住まいや地域における工夫を考えることができる。 ・地域とつながる視点から、安全で快適な住まい方について考えることができる。 ・住まい方が地域に及ぼす影響が分かり、住まい方を工夫できる。 ・自分の理想の間取りを考えることができる。 ・自らの生活を振り返り、知識や技術を実践しようとしている。
10月	健康で安全な住まい（5）					
11月						
12月						
1月	家庭生活と消費（2）	<ul style="list-style-type: none"> ・商品の選択方法や、いろいろな販売方法と支払い方法について知る。 ・消費者の基本的な権利と責任と消費者保護について知る。 ・物資、サービスの選択・購入・活用・廃棄について説明できる。 ・自分の消費生活と環境とのかかわりに関心を持ち、問題点を考えようとしている。 ・環境に配慮した商品の選び方について考えることができる。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・物資とサービスを利用して生活していることを理解する。 ・消費生活がどのように成り立っているかが分かる。 ・商品を購入したり、利用したりするときの生活情報の収集や活用の仕方を理解する。 ・店舗販売と無店舗販売をそれぞれの特徴を理解する。 ・即時払い、前払い、後払いの特徴が分かる。 ・契約について理解し、消費生活におけるトラブルについて理解する。 ・消費者を支える法律、制度、機関の必要性が理解できる。 ・基本的な消費者の権利と責任について理解する。
2月	商品の選択と購入（3）					
3月	よりよい消費生活のために（5）					